
理由と意味

思い出写真

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

理由と意味

【Nコード】

N0535F

【作者名】

思い出写真

【あらすじ】

才能にあふれた男が苦悩する物語。小説のあらすじのような小説で短いです。

天から与えられた才能は、富と名声を集めることに役に立つ。「それ」を越えようとしたのも、何のことはない。できないというところが、想像もできなかったからだ。

画家としての才能に恵まれた私の絵は、過去に天才と呼ばれた者たちの絵を、軽く越えた。自惚れではない、ただの事実だ。

私の絵を見れば、すぐさま理解するだろう。私を越えるものは、後にも先にも存在しないことを。だが、まれに、無知無能な輩が私の絵を、その絵のモデルと比較するのだ。しかも、出す答えはいつも同じ、「本物がいい」だ。

本物など、私が本気になることで、踏みつけることができる。だから、本物の口から敗北を聞くために、今回、私は人物画を初めて描く。

モデルにする人間は、適当な民家を訪ね、そこにいた、使えそうな娘を買った。訪ねた当初は、家の者どもは困惑していたが、金を積んだら醜惡な笑みを浮かべて、簡単に娘を売った。娘は終始、俯いたままだった。

普段の私なら、十日ほどで描き上げる絵のサイズを、一月はかけるつもりで描き始める。以前描いた人形にそっくりで、描きやすかった。

それから、日を重ねるごとに、娘は衰弱していった。対象が変化すると描きにくいので、食事と睡眠を許した。

十日ほどたったある日、娘が初めて、口を利いた。なぜ、私をモ

デルに絵を描くのか。といった内容だった。私は、無能にも理解ができるように至極丁寧に説明してやった。

「比べることに、意味があるの？」娘はそう言った。

私は、無能に説明することは愚かな行為だと悟った。気分を害したので、早く終わらせようと筆を執る。しかし、描く気力まで害されたらしく、筆が進まなかった。次の日も同様で、娘を見るたびに呪いのごとく、私の精神を蝕んだ。

仕方がないので、休息という名目で、娘に、その日の外出を命じた。娘が出た後、私は椅子に腰掛けて、天井を眺めたまま、ずっと、何もせずにした。夜になってもそのまま、娘も戻ってはこなかった。

それ以来、私は絵を描かなくなった。いや、描けなくなったと言ったほうが正しいのかもしれない。

手元にある一枚の未完の絵。何度も筆を入れようとしたが、できずにいる。なぜなら、絵の中にいる人形のような少女に、どんな技術を注いでも、私は、敗北するような気がしてならないからだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0535f/>

理由と意味

2010年12月17日19時04分発行